

“人”と“まち”をつなぐ「広報紙」

え び の

Public Relations

広 報

【特集】
平成 24 年度施政方針・当初予算

2012
April
No.546

4

〈写真〉サクラ満開の八幡丘公園にて

3月定例会が3月6日から3月26日まで開かれ、村岡市長は「平成24年度施政方針」を述べました。今回は、その内容の一部を抜粋してお知らせします。

■今年度の施政方針

昨年の東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故は、国民の防災・安全に対する意識を変え、人々の「絆」の大切さを再認識するきっかけとなりました。また、国においては、TPP（環太平洋経済連携協定）問題や社会保障と税の一体改革など構造改革が議論される中、基礎自治体として、いかに自立した行政運営を行うかが求められています。

そのような中、市の計画の最上位に位置づけられる第5次えびの市総合計画を「次代を創ろう！私たちの未来設計図10年の計」のストーリーガンの下、多くの市民に協力をいただき策定することができました。市民が一致団結し、共通の認識を持ちながら将来への道筋を確認できる未来設計図ができたと思っています。平成24年度以降、この計画に基づき「大自然と人々が融合し、『新たな力』が躍動するまちえびの」づくりを進めていきます。

また、えびの市では、これまで行財政改革を着実に推進した成果により財政状況は改善されてきたところですが、引き続き、緊張感を持った

ていきます。また、納税の重要性について啓発を行うとともに、税の使途についても広報していきます。

■行政改革

平成24年度は、4つの基本方針を改革の柱として策定した「第5次えびの市行政改革大綱」に沿って行政改革に取り組みしていきます。

また、職員の不祥事を未然に防止する観点から、全庁的、継続的に職員倫理研修を実施できる体制を構築し、職員倫理意識の保持に努めます。平成23年度に策定した「入札・契約制度改革に関する実施方針」に基づき、引き続き入札制度改革に取り組み、不正行為が発生しない組織風土を醸成していきます。

■活力を生む産業づくり

農業の振興については、えびの市総合農政連絡協議会を核に関係者と連携し、国・県の各種事業を活用しながら、えびの市独自の新たな事業に取り組みしていきます。

平成25年4月以降のオープンを目指す物産館は、平成24年度に建物等の本体工事を行います。併せて「えびの市物産館運営協議会」を中心に農産物の生産体制や出荷体制を構築していきます。

■志と郷土愛を持つ人づくり

学校教育では、導入4年目を迎え

財政運営に努めます。

しかし、一方では、少子高齢化・人口減少などの対策は喫緊の課題となつている状況です。市民が夢と希望の持てるまちづくりを進めるためには、市民と共有できる目標を掲げ、将来を見据えた積極的な政策を打ち出していく必要があります。そのためにも、「えびの市自治基本条例」に示してあるように、市民と行政がそれぞれの役割を認識し、情報を共有し、責任を持って行動する市民協働のまちづくりを進めていきます。私が掲げたマニフェストの事業については、既に実現したものもあり、進捗状況も公表していますが、市民の皆さんの声を伺いながらさらに検証していきます。

■財政運営

平成24年度当初予算においては、財政規模に応じた事業を実施し、将

る小・中・高一貫教育の充実を図り、徹底した学力向上と地域に貢献する人材の育成を図っていきます。

また、市民一人ひとりがお互いの人権を尊重し、互いに支えあいながら共に健やかに安心して暮らせるまちを実現するために、人権・同和問題に関する学習や啓発活動を推進します。

■健康のまちづくり

市民が心身ともに健康で心豊かにいきいきと暮らせるまちづくりを推進するため、疾病の予防、早期発見、早期治療に重点を置いた事業を実施します。市民自らが積極的に心と体の健康づくりに取り組めるよう支援していきます。

■協働と福祉のまちづくり

平成24年度から新たに市民協働課を設置し、協働推進のための基本計画を策定し、計画的に市民参画・市民協働の推進を図っていきます。少子高齢化や核家族化、地域意識の希薄化により地域で支えあう力が弱まりつつある中、「第2期えびの市地域福祉計画・えびの市地域福祉活動計画」を基に、地域福祉推進会議の充実をはじめとして、地域福祉の推進を図っていきます。

■住みよい生活環境づくり

自然と調和した住みよい生活環境



来世代に過度の財政負担を転嫁しないよう留意し、独自性と主体性を持ち、説明責任を果たせることを基本に諸施策に反映させました。これまでえびの市では、財政の健全化を実現するため、スリムで合理的な行政体制の構築、人件費の抑制などを実施してきました。しかし、少子高齢化に伴う大幅な人口の減少により、市税や一部人口を基礎数値とする普通交付税などの一般財源については、大幅な増収が当面見込まれない状況です。そのため、市財源の根幹をなす市税については、今後も適正な課税に努めるとともに納期内完納を推進し

づくりの取組として、河川浄化につながる浄化槽設置整備事業を引き続き推進しながら水質保全に努めていきます。

定住対策については、本市の重要施策の一つであり、まちづくりにおける根幹であると認識しています。そのため、新たに新規就農者への支援事業や少子化対策としての新たな助成制度の創設、市民の生活環境づくりの一環である公共交通体系の構築などに取り組み、定住促進サイトの充実や総合的な情報提供に努めるなど、住み続けたいまちづくりの視点に立って取り組むを進めていきます。今後、コミュニティバスについては、地域の実情に応じた運行路線運行形態、運行方法等具体的な実施計画の検討を進め、実証運行を行っていきます。

また、自衛隊施設の安定的使用と住民生活との共存を図りながら、えびの市駐屯地の存続増強に向けた取り組みを進めていくために周辺市町と連携をさらに深め、継続して国への要請を行い、基地対策の推進に努めていきます。

以上、平成24年度の施政方針と施策の概要を申し上げますが、全職員一丸となり、市民の負託に応えるよう全力を尽くす決意です。市民の皆様のお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

平成24年度施政方針

市民協働のまちづくり

■会計別予算の状況

単位：万円

会計	24年度	23年度	増減率
国民健康保険特別会計	345,656	369,739	- 6.5%
後期高齢者医療特別会計	62,101	57,587	7.8%
介護保険特別会計	273,965	270,310	1.4%
観光特別会計	2,905	3,290	- 11.7%
水道事業会計	59,630	60,020	- 0.6%
病院事業会計	103,968	105,960	- 1.9%

■市民一人あたりの予算額（一般会計）

※4月1日現在、住民基本台帳で算出。

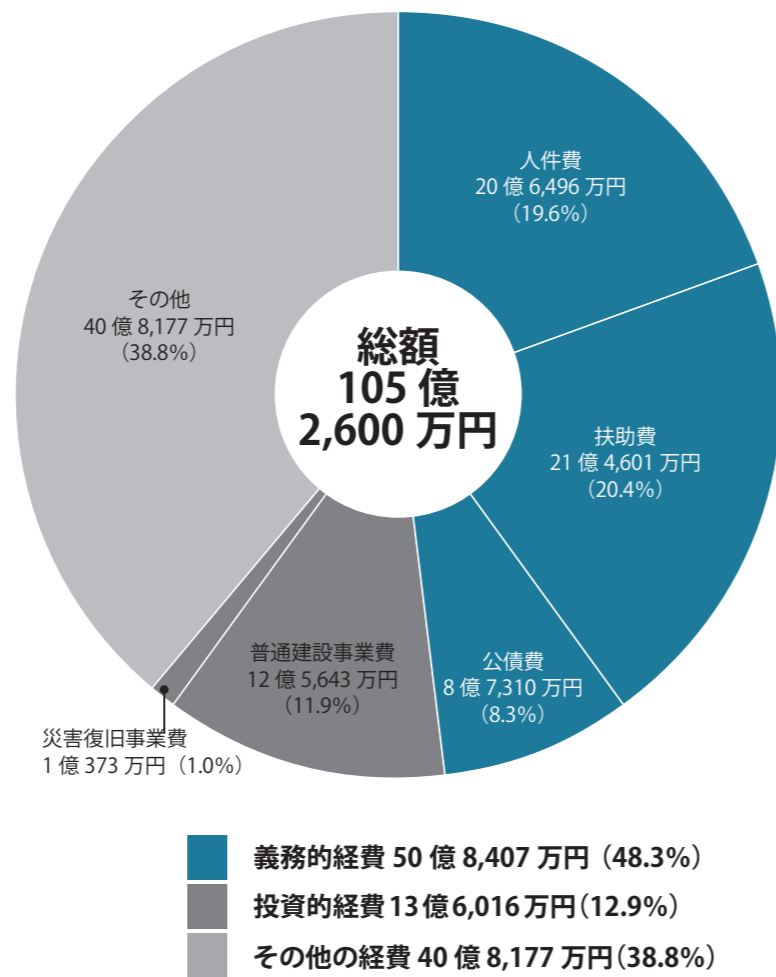
1人あたり 482,534円



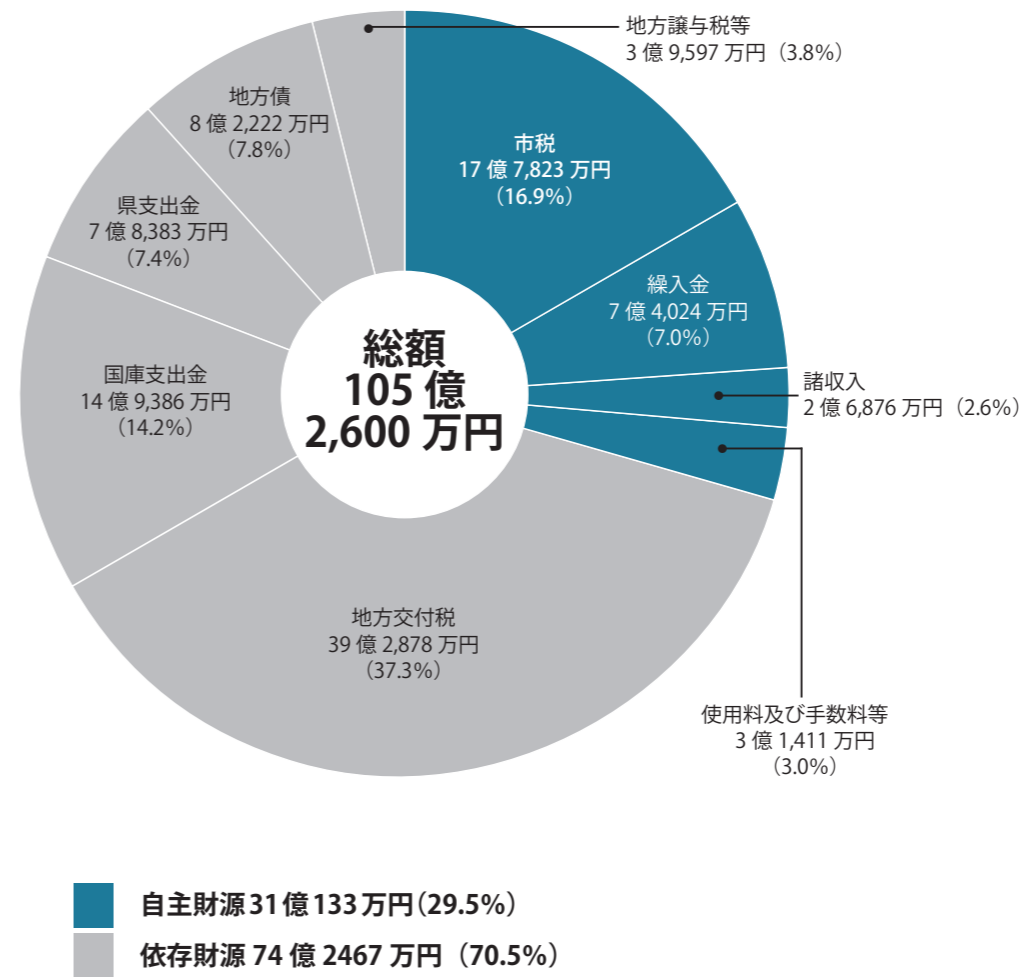
1世帯あたり 1,048,929円



歳出



歳入

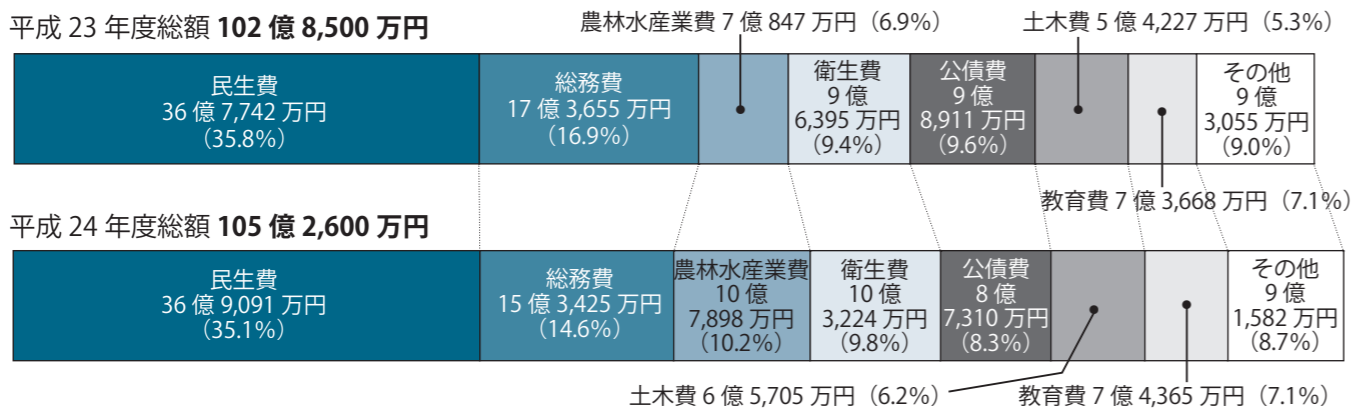


平成24年度一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ105億2600万円です。平成23年度当初予算と比較すると、2億4100万円、率にして約2.3%の増額予算となりました。歳入予算の財源割合は、構成比で自主財源(自主的に収入できる財源)は29.5%、依存財源(国や県からは29.5%、)

の交付金・支出金や、地方債による財源)は70.5%となっております。平成24年度も、依然として厳しい財政運営の中、財政健全化に向けた取り組みを継続していきます。

問 市財政課財政係
35-1111 (内線381)

■一般会計歳出目的別分類状況（一般会計）



■用語の説明

歳入
【自主財源】市が自ら徴収または収納できる財源。
【依存財源】国や県の意思により決定された額を、交付されたり、割り当てられたりする財源。
【地方交付税】地方税などの自主財源だけでは財源の足りない地方自治体に対して、国が交付するお金。
【国庫支出金】国から地方自治体に支出される補助金や委託金。
【地方債】市がさまざまな事業を行う時、借り入れるお金。

歳出
【義務的経費】その支出が義務付けられ、任意に削減することが困難な経費。
【投資的経費】その支出が建物、学校、道路など、資産形成に向けられる経費。
【人件費】市職員給与、市議会議員・各種委員報酬など。
【扶助費】法令に基づき、被扶助者に支出される経費。
【公債費】市が借り入れたお金の返還金。
【普通建設事業費】道路、橋りょう、学校、庁舎など公共施設の新設や増設に要する経費。

資産と負債のバランスは？

市では、新地方公会計制度を活用して、平成22年度決算をもとにバランスシートを作成しました。このバランスシートでえびの市の財政状況を見てみましょう。

市では国の行政改革指針（平成18年）に基づき、平成23年度に新地方公会計制度を導入を行いました。今回、公表するバランスシートは、新地方公会計制度を活用して作成したものです。

◎新地方公会計制度

新地方公会計制度導入の目的は、「自治体の資産・債務改革等に役立つ手法の整備」です。しかし、単なる手法の整備にとどまることなく、市民に対する財政状況の適切な情報開示などを行うことで、行政の透明性をより高めることができます。

新地方公会計制度では、連結財務書類の作成を行います。市の行政サービスは、一般会計を中心とした普通会計だけでなく、多様な会計（水道事業や国民健康保険など）や関係団体（西諸広域行政事務組合など）で実施されてい

市民一人当たりのバランスシート

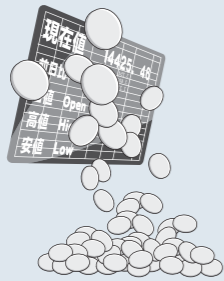
総資産額合計 556 億 5,501 万 3 千円、人口 22,140 人（平成 23 年 3 月 31 日現在）

貸方 固定資産や株、預金などの資産

○土地や建物などの固定資産
208 万 4 千円



○株などへの投資
18 万 2 千円



○現金・預金
24 万 8 千円



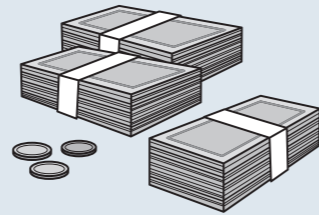
資産合計 251 万 4 千円

借方 資産を手に入れるために払ったお金と借金

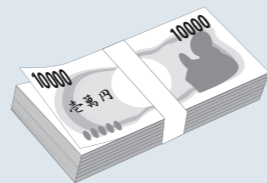
○借金（負債）
52 万 6 千円



○すでに支払った額（純資産）
198 万 8 千円



すでに支払った額のうち
国庫・県支出金で支払った額
59 万 4 千円



負債・純資産合計 251 万 4 千円

僕たちのまちは、
どうなっているの？



えびの市がこれまでに整備してきた道路や公共施設などの総額は 208 万 4 千円だよ。ちなみに、その整備のための借金が、まだ 52 万 6 千円残っているんだ。でも、これは少しずつ計画的に返しているんだよ。
現金や預金は、24 万 8 千円持っているようだね。
※市民一人当たりで換算した数値

ます。このため、普通会計の財務書類を作成するだけでは、必ずしも行政サービス実施主体としての市の財務状況の全体像を表すことはできません。そこで、市と関係団体等を連結して一つの行政サービス実施主体としてとらえ、公的資金等によって形成された資産の状況、その財源とされた負債・純資産の状況、さらには行政サービスの提供に要したコストや資金収支の状況などを総合的に明らかにすることが、連結財務書類の作成の目的です。

◎バランスシート（貸借対照表）

バランスシートとは、住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを総合的に対照表示した財務書類です。表内の資産合

計額（表左側）と負債・純資産合計額（表右側）が一致し、左右が均衡（バランス）していることからバランスシートとも呼ばれています。
昨年度までは、一般会計のバランスシートを作成してきましたが、今回からは新地方公会計制度に基づき、一般会計以外の会計や関係団体との連結した連結書類を基にバランスシートを作成しています。次のページでは、市の財政状況を身近に感じてもらえるよう市民一人あたりに換算したバランスシートを紹介いたします。

◎連結決算日

3 月 31 日

【お問い合わせ先】

市財政課行政経営係

☎ 35・1111

（内線 383）

■連結財務書類の対象となる会計・団体・法人

行政サービス実施主体	団体・会計の区分		会計名または組織名
	えびの市	普通会計	一般会計
公営事業会計		保険等事業会計	国民健康保険特別会計
	後期高齢者医療特別会計		
老人保健特別会計（保険事業勘定）			
介護保険特別会計（保険事業勘定）			
介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）			
公営企業会計	水道事業会計		
	病院事業会計		
	観光特別会計		
関係団体	一部事務組合・広域連合	西諸広域行政事務組合	
		宮崎県後期高齢者医療広域連合	
		宮崎県自治会館管理組合	
地方公社・第三セクター等		該当なし	

新しい体制でスタート

平成24年4月1日付けで、市職員の人事異動が発令されました。平成24年度のスタートにあたり、新副市長や各所属長を紹介いたします。

新副市長は、平成24年3月議会で、酒匂重久副市長が承認されました。平成24年度の市役所の組織は、市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、市民協働課を設置。危機管理の総合調整を行うための

「危機管理対策監」を総務課に配置しました。

また、昨年発生した職員による汚職事件を受け、入札事務をこれまでの財産管理課から工事発注の想定されない財政課へ移管変えました。

平成24年度の新たな取り組みとして、市と宮崎県で「職員の人事交流」を行います。これは、職員の資質向上と相互理解の推進のために行うも

のです。市には、県から大坪博子主幹を受け入れました。配属先は市民協働課です。また、市からは岩下正和主事を宮崎県庁に派遣しました。派遣先は、県商工観光労働部企業誘致推進局企業立地課です。派遣期間は2年です。



4月2日、副市長就任の辞令を受けとる酒匂重久副市長



酒匂重久 副市長

昭和59年に宮崎県庁に入庁。秘書広報課、地域産業振興課、商業支援課主幹やスポーツ振興課課長補佐などを歴任

4月1日付けで、副市長を拝命しました。小林市の旧野尻町出身で、えびの市には、とても親しみを感じています。村岡市長のリーダーシップの下、豊かな自然とそこで育まれた農畜産物や京町温泉など、数多くの財産を生かして、えびの市のさらなる発展に尽力してまいります。市民の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしく願いたします。

各課長、事務局長の紹介

課名	氏名	課名	氏名	課名	氏名
総務課	野間教昭	環境業務課	福田孝正	議会事務局	杉元真一
企画課	馬越脇浩	福祉事務所	徳重順子	農業委員会事務局	松岡信一
市民協働課	上加世田たず子	市立病院	松永康二	学校教育課	坂本健一郎
財政課	原田和紀	観光商工課	坂本謙太郎	学校給食センター	岩下百年
財産管理課	下原龍一	畜産農林課	吉留伸也	社会教育課	木村哲也
税務課	竹下京一	建設課	森賢	飯野出張所	鶴田晃一
市民課	柳田昭雄	水道課	園田毅	真幸出張所	高戸芳政
健康保険課	木村政一	会計課	上加世田章人	危機管理対策監	米倉健一
長寿介護課	平野浩二	監査委員事務局	白坂良二		

新規採用職員を紹介します

平成24年4月1日付けで、次の11人がえびの市役所の職員として採用されました。新規採用職員と県交流職員の抱負や自己アピールを紹介いたします。



竹原雄太
財政課

中学で軟式野球、高校・大学で硬式テニスをしていたので、体力には自信があります。一日も早く仕事に覚え、がんばりたいです。



河野寛和
市民協働課

褒められて伸びるタイプで、良くも悪くも切り替えが早い性格です。ミスをして引きずらず、しっかりとやっていきたいです。



坂口優紀
企画課

気になる事があれば、自分の目で確かめなければ気が済まない性格です。市内の美味しい物が気になっています。休日は市内中を確かめて回りたいです。



迫園正治
観光商工課

持ち前の根気強さと誠実さを生かして、一日でも早く市民のお皆さんから信頼される職員となれるよう頑張りたいです。



福重将貴
観光商工課

どんなことにも物怖じせずに取り組んでいくように心がけています。積極的にいろいろなものに挑戦していきたいです。



鶴戸西夏美
福祉事務所

よく笑うことが取り柄です。常に明るく、周りの人がつられて笑顔になるような職員になりたいです。えびの市の太陽を目指して頑張ります。



大浦聡士
建設課

私は真面目で粘り強い性格です。これから市民の皆さんに信頼されるような職員を目指し、えびの市の発展に貢献していきたいです。



木下創太
畜産農林課

ヤル気・元気の良さ、えびの市を好きな気持ちも誰にも負けません。常に笑顔を第一に市民皆さんと接していきたいです。



宮原歩夢
畜産農林課

学生の時、柔道をしていました。柔道で培った精神力の強さで仕事などがんばっていきます。



人事交流職員（県の交流職員）
大坪博子
市民協働課

職員の人事交流で県庁からやって来ました。えびの市の皆様のお役にたてるよう、努力していきます。



菅田裕美
市立病院

一つのことを気になる性格です。性格を生かし、患者さんにきめ細やかな対応をし、誰にでも慕われる看護師になりたいです。



川平泰希
学校教育課

いつも明るく元気に笑顔でいきいと思います。仕事に対しては常に厳しく丁寧に行っていきたいです。

地域づくり、まちづくりに活用してください
ぷらいど 21 助成事業が改正されました

自治公民館活動助成金

自治公民館が、各種自治公民館交流活動を計画的・重点的に地域の実態に応じて実施する事業に対して助成します。

【助成率】 100%

【助成金額】 単年度 5 万円（3 年間交付）

【申請書受付期限】 5 月 15 日（火）

市民団体等活動助成金

市民団体等が、新たに実施するいきいきとしたまちづくり事業に対して助成します。

【助成率】 全体対象経費の 80%

【助成金額】 単年度上限 100 万円を 1 年間交付。ただし、複数年度を要する事業は最高 3 年を限度に助成することができます。

【申請書受付期限】 5 月 15 日（火）

市では、いきいきとしたまちづくり活動を行う団体などを支援するために、「ぷらいど 21 助成金」を交付しています。平成 24 年度からは、より助成金を利用しやすくするために、「自治公民館活動助成金」と「市民団体等活動助成金」の 2 つに区分して助成を行います。自治公民館活動助成金は、地域のふるさとづくり、地域住民の親睦・健康増進、地域の広報紙製作に関する活動などに利用できます。市民団体等活動助成金は、自然保護、地域文

化の継承、郷土料理の普及活動などに利用できます。申請手続き・相談は、市民協働課のほか飯野・上江・加久藤・真幸の各地区公民館で受け付けます。平成 23 年度までに「ぷらいど 21 助成金および自治公民館地域活動モデル補助金の交付を受けている団体・自治公民館は、従来どおりの内容での助成となります。詳しくは、市民協働課までお問い合わせください。

☎ 市民協働課
 ☎ 35・1111
 (内線 352・353)

地域公共交通の充実を図ります
地域公共交通総合計画を策定しました



今後、えびの市は、高齢化が進み買物や病院へ行くだけでも行けない人が増えることが予想されます。市では、そのような人を守り、地域の交通の確保維持を目的として、「えびの市地域公共交通総合計画」を策定しました。

この計画では、平成 24 年 10 月から 12 月までの 3 か月間、地域公共交通（コミュニティバス）の試験運行を始める予定です。

試験運行区間は、えびの駅（加久藤）～えびの飯野駅（飯野）間の「循環線」、

大河平周辺「郊外線」と白鳥周辺「郊外線」の 3 路線です。平成 25 年度からは試験結果を踏まえて、段階的に運行区域を広げながら市内全体での本格運行を目指します。

☎ 市企画課政策係
 ☎ 35・1111
 (内線 322)



あれから 2 年
口蹄疫への備えは万全ですか

えびの市で口蹄疫が発生して 2 年が経ちます。近隣諸国では、未だ口蹄疫が猛威をふるっています。ロシア極東地方（ロシアと中国国境付近）で、本年 3 月 6 日に口蹄疫（O 型）の発生が確認されました。昨年からは中国およびカザフスタンでの発生が確認されています。このことから、カザフスタンから中国、ロシア極東地方に至る範囲の地域で口蹄疫が広がっていることが危惧されます。

一方、台湾でも、口蹄疫の発生が継続的に認められ、特に本病の増幅動物である豚での発生が台湾本島だけでなく、周辺の島でも確認されています。これまでの発生状況から、台湾では、口蹄疫ウイルスが常在している可能性が非常に高いものと考えられます。また台湾や中国では、高病

●毎月 20 日は、県下一斉消毒の日です

畜舎の消毒	・出荷後、敷料を除去した空の畜舎などを、動力噴霧機により、洗浄・消毒を行います。動噴がない場合は、消毒薬をジョウロなどで散布しましょう。
消石灰散布	・車両が入ってくる農場入口に、全体的に白くなるように散布します。
踏み込み消毒槽の点検	・畜舎入り口の踏み込み消毒槽を点検し、消毒薬を確認しましょう。 ・踏み込み消毒槽は必ず設置するようにし、消毒薬が汚れたらすぐに取り替えるようにします。
畜舎周囲の清掃	・畜舎周囲の除草や草刈り等を含めた環境の整備に努めましょう。 ・畜舎消毒や踏み込み消毒槽の点検は消毒の日に限らず、随時行うことが大切です。

原性および低病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。

畜産農家の皆さんは、飼養家畜の健康状態等の観察と飼養管理基準の徹底等、口蹄疫等の伝染病の侵入防止に万全を期すようお願いいたします。

【お問い合わせ先】
 市畜産農林課畜産振興室
 ☎ 35・1111
 内線 222・236

地域の活動を応援

地域おこし協力隊の活動を紹介します



えびの飯野駅で行ったハトよけネット取り付け作業

平 成23年度から実施している地域おこし協力隊の活動を紹介します。地域おこし協力隊は、地域の課題を外部の人材を活用しながら解決しようという総務省の推進事業です。隊員は、えびの市に移住し活動を始めて8か月が経過しました。これまで、コミュニティ活動の応援や市民活動団体が行う活動の応援などを行ってきました。

【23年度に行った主な活動】
西長江浦太鼓踊り、上江つこ農園稲刈り、榎田区世代間交流「バナナ葉包窯

区 市民協働課
☎ 35-1111
(内線352・353)

焼き芋」、えびの駅イベント、尾八重野区ゲートボール大会、上大河平区自主防災訓練、東川北区「豊年祭」、田代区夏祭り、加久藤麓区自主防災訓練、溝ノ口区こんにやく作り、ふらいど21事業報告会など
今後はさらに活動の範囲を広げていく予定です。地域おこし協力隊に依頼したいことがある場合は、市民協働課まで連絡ください。

第5次えびの市総合計画策定

私たちの未来設計図ができあがりました

第5次えびの市総合計画の将来都市像

大自然と人々が融合し、「新たな力」が躍動するまち えびの
—南九州の交流拠点都市を目指して—

えびの市の将来像を目指すための基本目標

1. 新たな活力を生む“産業づくり”
産業の振興・都市計画基盤の整備
2. 志と郷土愛を持つ“人づくり”
教育・文化・スポーツの振興
3. 誰もが元気“健康のまちづくり”
保健・医療の充実
4. みんなのかがみ見える“協働と福祉のまちづくり”
住民自治・福祉の充実
5. 自然と調和した住みよい“生活環境づくり”
自然環境の保全・生活環境の整備

市 では、まちづくりを進めていくための総合的な指針「第5次えびの市総合計画」を策定しました。

総合計画は、基本構想・基本計画から構成され、えびの市における長期的かつ総合的なまちづくりの指針として、最上位に位置づけられるものです。

現在、時代の流れに対し、行政の迅速かつ的確な対応が強く求められています。新たに策定した計画は、このような現状や課題を踏まえ、えびの市のあるべき姿

を考え、その実現に向けた指針が書かれています。計画の目標年次は、「基本構想」については10年後の2021年度。「基本計画」については、社会情勢の変化などを勘案し、中間年度である2016年度で必要に応じ見直しを図ります。「実施計画」については、3年を1期とし、毎年度点検・見直しを行います。

総合計画の概要版は、今後、各家庭に配付します。

区 市企画課政策係
☎ 35-1111
(内線321・322)

時刻表が変わりました

より便利になりました。新幹線接続バス

下り(博多駅⇒えびのIC)

九州新幹線			B&Sみやざき		
列車名	博多発	新八代着	便名	新八代駅前発	えびのIC着
さくら405号	7:53	8:44	B&Sみやざき405号	8:50	9:44
さくら545号	9:58	10:47	B&Sみやざき545号	10:53	11:47
さくら419号	17:09	17:58	B&Sみやざき419号	18:04	18:58
さくら567号	19:08	19:57	B&Sみやざき567号	20:03	20:57

上り(えびのIC⇒博多駅)

B&Sみやざき			九州新幹線		
便名	えびのIC発	新八代駅前着	列車名	新八代発	博多着
B&Sみやざき544号	7:35	8:34	さくら544号	8:49	9:36
B&Sみやざき402号	9:33	10:32	さくら402号	10:47	11:36
B&Sみやざき570号	17:36	18:35	さくら570号	18:50	19:37
B&Sみやざき414号	19:36	20:35	さくら414号	20:50	21:43

問 JR九州予約センター ☎ 050-3786-3489

新 幹線に接続する高速バス「B&Sみやざき」の乗降時間が変わりました。新しい時刻表は左のとおりです。

えびのICバス停に停車するのは、宮崎駅〜新八代駅前間を毎日16往復するうちの各4便です。

市では、えびの市の観光や企業誘致などを目的に、接続バスの停車本数を増やしたいと考えています。そこで、市では観光協会、商工会と連携をとり、停車便の増便など運行バス会社に要望しています。



市民の安心安全のために

3台の消防車が新しくなりました



更新された2分団7部の消防車両

市 では、消防団の消防車両3台を更新しました。更新されたのは、第2分団第7部(中島区)、第2分団第6部(東川北・榎田・牧の原区)、第3分団第8部(西川北区)です。引渡式は、3月15日に市役所で行われました。

この車両の更新は、平成23年度霧島演習場周辺消防施設設置助成事業を活用して行ったものです。市では、市内消防団の古い消防車両から順に更新しています。更新された消防車両は、2分団7部が消防ポンプ自

動車。2分団6部と3分団8部が小型動力ポンプ付積載車です。

引渡式で中島区長の西園章二さんは、「区民として消防団には、お世話になっています。車両更新を機に、より地域の防災認識を高めていきたいです」と挨拶しました。第2分団第6部の山下政臣さんは「一日も早く機械操作になれるため、訓練等に励みたいです。長年使うものなので大切にしていきたいです」と話していました。

あの時、あの頃

あの時のえびの市を広報紙で振り返る

今月は、26年前の広報紙にタイムスリップ



「八幡丘サクラ祭り」
春らんまん、最高のサクラの見頃、4月5・6日、「新ひむか八幡丘サクラ祭り」が行われました。

この日は、天気も上々、陽気に誘われて、約1万人の人でにぎわいました。

会場では、歌謡選手権大会、踊り、ビールの早飲み大会など多くの催しが行われました。

(昭和61年4月掲載)



※このコーナーは、これまでの広報紙の記事を一部抜粋、修正して掲載しています

がんばる！公民館

明るく・住みよい地域づくりを

(平成24年度社会教育指導員の紹介)

市内65の自治公民館では、各公民館長を中心に、地域の特性を生かしたさまざまな活動が行なわれ、明るく住みよい地域づくりにがんばっています。

例えば、地域住民が協力し、郷土芸能の伝承を行ったり、地域の子どもは地域で育てるという意識で世代間交流や学習会を行ったりしながら生活・文化の向上を図っています。

自治公民館活動は、地域の活性化や地域づくり、人づくりに欠かすことのできない重要な役割を担っています。

皆さんも、公民館活動に積極的に参加して、地域を盛り立てていきましょう。

相談は、相談員・支援員まで

市教育委員会には、社会教育指導員・自治公民館活動指導員が配置されています。各自治公民館と連携をとりながら、公民館活動の情報提供や指導など自治公民館活動の円滑な運営を支援します。活動に関することは、何でもお気軽にご相談ください。

【社会教育指導員】

- ◎飯野地区 鬼丸修さん ☎ 33・0030
- ◎上江地区 溝口幸男さん ☎ 33・5799
- ◎加久藤地区 奥松勉さん ☎ 35・2268
- ◎真幸地区 藤崎裕之さん ☎ 37・3221



左から藤崎裕之さん、鬼丸修さん、溝口幸男さん、奥松勉さん

◎自公連だより

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称

ジオパーク発掘調査隊

その31

【ジオパークって何?】

ジオ(地球)に親しみ、ジオを学ぶ旅、ジオツーリズムを楽しむ場所がジオパークです。山や川をよく見て、その成り立ちとしくみに気付き、生態系や人間生活との関わりを考える場所です。足元の地面の下にある岩石から宇宙まで、数十億年の過去から未来まで、山と川と海と大気とそこに住む生物について考える場所、それがジオパークです。

日本列島には過去の地球の活動を記録した地層や岩石、最近の地球の活動が見られる火山や活断層に伴う



5月上旬が見頃のノカイドウ

地形などが各地に見られます。日本列島はジオについて学ぶのにも適した場所です。全体がジオパークと言っても良いようなところは、です。

【何を楽しくとらえるの?】
何気なく見ている山や川には、それぞれ他のどことも違う成り立ちがあり、何かの理由があって今のようになぜか変な姿になっているのです。

一見何の変哲もない崖に、地球の歴史をひもどく重要な証拠が隠れています。動かないように見える大地ですが、今も活動している証拠があちこちに見つかります。その大地の成り立ちと仕組みが、その上に住む生き物(人間も含めて)の生活に大きな影響を与えているのです。そういうことに一度気付くと、普段何となく見ている景色もそれまでとは違った、かけがえない素晴らしいものに見えてきます。

(出典：日本ジオパーク委員会の「ジオパークQ&A」より)



消防団入退団式で団長の職務に励む原田さん

原田芳和さん

災害などに強い消防団をつくりたい

Nanami Mogi
はらだ・よしかず / 60歳 / 西川北区 / 趣味:昔は、よく釣りに行っていたが、最近は、行かなくなった。

と ひ の の え

「災害などに強い消防団をつくりたい」と話すのは、えびの市消防団第6代目団長の原田芳和さん（西川北区）です。

原田さんは、消防団員として43年間地域で活躍しています。昭和44年4月に消防団3分団8部に入団、その後、副

分団長、分団長、副団長を歴任して、今年4月、えびの市消防団長に就任しました。原田さんが消防団に入ったのは、17歳の時です。「当時は、自分たちの地域は自分で守るといふ気運が強く、消防団に入るのが当たり前だった」

分団長、分団長、副団長を歴任して、今年4月、えびの市消防団長に就任しました。原田さんが消防団に入ったのは、17歳の時です。「当時は、自分たちの地域は自分で守るといふ気運が強く、消防団に入るのが当たり前だった」

正直、引き受けるかどうか悩んだと言う原田さん。そんな時、家族から「がんばってみなさいよ」と言われたことが団長を引き受ける後押しになったそうです。

火災・風水害などの災害時には、市民の生命財産を守るため消防団は頑張っています。

えびの市自慢のおいしい料理



◎今月一品 3色サトイモかるかん

- レシピ**
- 【材料】**
サトイモ.....300g
米粉.....300g
卵白.....4個分
砂糖.....300g
水.....100cc
あずきあん.....適宜
甘納豆.....適宜
ニンジン.....1/2本
ヨモギ粉.....適宜
- 【作り方】**
①サトイモは、皮をきれいに取って2cm角位に切り分け、水を加え、ミキサーにかける。
②卵白を固く泡立てる。
③泡立てた卵白の中に、米粉、砂糖、サトイモを入れ、混ぜ合わせる。
④型に、サラダ油を薄く塗り、③を流し入れ、15分蒸す。
※ニンジンは、すりおろし、サトイモと同じようにミキサーにかけ、③で入れる。ヨモギ粉も同様（色付け）。

今月紹介するのは、ふるさと料理講座でつくった「3色サトイモかるかん」です。



【紹介者】
ふるさと料理講座のみなさん

えびの市の つまかもん

「えびののうまいもの」

vol.48



170個の防犯ブザーを寄贈
子どもの安全に役立てて

3月28日、西諸地区生コンクリート事業協同組合の役員2人が市長を訪問。防犯ブザー170個を市に寄贈しました。これは、同組合が今年1年生になる児童の防犯に役立ててもらうと贈ったものです。寄贈にあたり同組合の小菜良雄さんは、「県内では、子どもへの声かけ事案が増えてきている。この防犯ブザーが犯罪などの抑止力に大いにつながるのではないかと思います」と話していました。



矢岳高原でアウトドア料理教室
野外での料理はまた格別

3月10日、矢岳高原ベルトンオートキャンプ場で、アウトドア料理教室が開催されました。教室には、市内外から9人が参加。野草のてんぷらや炊き込みご飯などを作りました。この教室は、4月15日の同キャンプ場の開村に向け、キャンプ場を多くの人に知ってもらおうと市観光商工課主催で行われたものです。参加者は、でき上がった料理を食べ、「とてもおいしい」と話していました。

平成24年度えびの市消防団入退団式
決意を新たに、24年度始動

4月1日、永山河川敷運動公園で、平成24年度えびの市消防団入退団式が行われました。今年度は、新たに37人が消防団に入団。37人が退団しました。式では、通常訓練や新入団員などへの辞令交付などが行われました。新入団員を代表して、第3分団第1部に入部した中村美朗さんが「市民の安全・安心のため、良心に従い、忠実に消防の職務を遂行すること誓います」と宣誓しました。



鹿ん南蛮発表会
シカ肉でB級グルメを開発

3月27日、京町の旅館でB級グルメ「鹿ん南蛮」の発表会が行われました。「鹿ん南蛮」は、京町活性化プロジェクトの一環で、害獣でもある鹿を何か有効活用できないかとつくられたものです。発表会では、旅館・飲食店組合など10社15種類の「鹿ん南蛮」が披露されました。この「鹿ん南蛮」は、4月からえびの市内の、「鹿ん南蛮」と書かれたのぼり旗のあるお店で食べることができます。



交通事故のないえびの市を目指して
交通安全を呼びかける

4月5日、「えびの市春の地域安全・交通安全運動」決起集会が、市文化センターで行われました。集会には、35団体の約300人が参加しました。決起集会は、犯罪や交通事故のない安心して生活できるえびの市を目指そうと行われているものです。集会では、新入学児童生徒の代表に、防犯ブザーなどが手渡されました。参加者全員でがんばろう三唱を行い、交通事故防止への決意を固めました。



公民館活動等に役立てて
最新ガス機器を寄贈

3月21日、社会福祉協議会と南原田、永山、西川北自治公民館に、えびの市エルピーガス事業組合からガス機器が寄贈されました。この寄贈は、同組合が、社会貢献活動の一環として行ったものです。今回、社会福祉協議会に3台、各自治公民館に1台ずつ寄贈されました。同組合代表理事の原口陽一さんは「使いやすくすばらしいコンロなので、ぜひ、活用してもらいたい」と話していました。

心の一首一句

ありますが、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



『診療室にきた赤ずきん』
物語療法の世界

大平健／著
(早川書房)

心が疲れ精神的不調を訴え診療室を訪れる患者さんに、医師は昔話や童話の処方を行います。患者の生活の深層に潜むストーリーを解き明かし、傷つき疲れた心を癒してゆく、不思議な物語療法の世界。昔読んだ絵本、昔話、童話が人の心の奥深くに潜んでいて、心の疲れを取り去ってくれる。この本を読みながら、自己分析すると意外と悩みが小さくなり、悩みから解放されるかもしれません。

BOOK CORNER ■推薦：市民図書館

Editor's

◎編集後記

4月になり、春の陽気に誘われて鳥がさえずる今日この頃。ですが、まだまだ、肌寒い日が続いています。私も薄着に挑戦したのですが、「薄着にしなれば良かった」と思う日が多くあります。季節の変わり目です。体調管理には、気を付けていきたいと思ひます。みなさんも体調管理には気を付けてください。(川野)

◎えびの市の人口 転入／116人
男性／9,775人(－165人) 転出／402人
女性／11,118人(－139人) 出生／23人
合計／20,893人(－304人) 死亡／41人
◎えびの市の世帯数 9,004世帯(－175世帯)
(平成24年4月1日現在)

今月の 納税

固定資産税
介護保険料
5月1日までに納めましょう。

第1期
第1期



いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

住み慣れた地域で暮らすために ■萩原保健師(長寿介護課)

私たちの脳は大きく分けると、前頭葉・頭頂葉・側頭葉・後頭葉という四つの部分で構成され、それぞれの場所で違う働きをしています。額のすぐ後ろにあるのが前頭葉です。前頭葉は、考える、行動を抑制、対話、感情を抑制、記憶をコントロール、意識注意を集中・分散、やる気を出す等、人間ならではの高次の機能を担当しています。特に行動や感情の抑制が得意です。認知症になると行動と感情を制御する力が弱くなり、その結果、異常行動や徘徊、泣いたりわめいたり感情の起伏の差が大きくなり、社会生活を送りにくい人へと変わっていきます。中には意欲が低下して、食事、トイレ、着替えが出来ない等、身辺自立能力が失われ社会生活を送れなくなってきます。認知症が進行して家族と一緒に楽しく生活していけなくなる理由が、この前頭前野(前頭葉の前の部分)の機能

の低下と直結しています。そこで、この前頭前野の働きをきちんと保ち、鍛え直すことができれば、認知症でも在宅で家族に囲まれ、穏やかに普通に地域で生活できるのではないかと、研究が進んでいます。文字を読む習慣を持っている人は認知機能が落ちないと、昔から言われています。さらに黙読よりも音読の方が、脳がより活性化することがわかっています。住み慣れた地域で暮らすためにも、音読(文字を声に出して読む)して、脳を活性化させ、健康でいる期間を伸ばしましょう【前頭前野の働き、効果を高めるポイント】脳は、就寝時から約10時間後の午前中に最も働きます。また、楽しいこと・新しいことが好きです。新聞、雑誌など自分が興味のある欄を午前中、5分から10分程度読むことで前頭前野の活性化に効果があります。

◎短歌

高々と畑の畝の続きおり
まぶしく返す春の光を

原田区 岡本克子

春は何をおいても若草色。広びろとした畑が続き葉の深いひだに、春の光を浴びている姿それは力強く、とても美しい。作者は今、春が香り立つという実感を身を持って味わっている。春の風と光と生命の輝き、清明感のあるすばらしい詠である。(評 竹下妙子)

◎俳句

川が見え山桜見え着任す

中島区 川原伊津子

過ぐる日、須木村のとある分校に転任することになりました。その頃の須木村は軍谷峠という山越えの難所があり、不安に駆られながら新しい任地に向かいました。一棟の校舎の周りには、職員住宅が2軒あるのみ、でも校門の満開のサクラの下に立った時、不思議な感動を覚えました。9月入学を取りざたされるこの頃ですが、日本のこのサクラ時の4月入学、なかなか捨て難いものがあると私は思っています。(自註)

◎詩

春の訪れ

春は 忘れずにやって来る
悲しみに沈む あなたのもとへ
幸せの笑 溢れるあなたのもとへ
怒りに震わすあなたのもとへ
南の国から そっと そっと
足音 忍ばせやってくる
時が来たかと顔出した フキノトウ
頬張る口に 春の香り
ゆったり流れる春の日に
歩いて見れば 目も鮮やかな菜の花が
そよそよ風に揺らいでる
土筆の坊やが頭をもたげ
空行く雲と 話してる
水辺に芽吹くクレソンの
小さな蕾も呼んでいる
春よ来い来い 春よ来い...と

町区 石井高子

あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056
(俳句) 松山良文さん ☎ 0984 - 33 - 4904
(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528まで

男女共同参画だより

情報をうのみにせず、活用して

「メディア・リテラシー」をご存じですか? メディア・リテラシーとは、新聞・テレビ・ラジオなどのメディアの伝える情報をうのみにせず、視聴者・読者自身が評価し、取捨選択するなどして、情報を活用する能力をいいます。私たちが日常的に何気なく取り入れてしまいがちなメディアからの情報ですが、たとえニュースであってもその内容は構成・演出・編集されたものであり、それは「事実そのもの」ではないこともあります。情報がはらんとする現代社会で生きていく上で、メディア・リテラシーは私たちが身につけておきたい力です。『情報は人間を通して編集・加工されてから私たちに届く』ということを意識し、メディアの発信する情報に敏感になることが大切です。メディアから流れる情報の中には『女はこ

うあるもの』『男はこうあるべき』といった、固定的な性別役割を肯定する価値観が少なからず埋め込まれています。実際には、人々は多様で、様々な男女がいるにもかかわらずメディアがつくりだす画一化された女性像、男性像は無意識のうちに私たちに大きな影響を与え、社会全体の性別役割分担の意識形成へとつながっていきます。最近では、女性の社会進出、男女共同参画が少しずつ広まり『働く女性』『育児をする男性』など男女の表現が変化してきている部分はありますが、まだまだ気になる表現が多いのも現実です。気になる表現を見逃さないことが、メディアの中に潜む男女の差別的な表現に気付くことにつながります。

南米フォルクローレ えびのライブコンサート

市国際交流センターでは、自主事業として、南米フォルクローレ「えびのライブコンサート」を行います。ペルー出身の4人からなるASIANDINA（アジアンディーナ）が、アンデス民謡をラテンのリズムで演奏します。フォルクローレのメロディーで心を癒されるひとときを過ごしてみませんか。



【場所】 えびの市国際交流センター
【日時】 5月12日（土）
 午後6時30分開場、午後7時開演
【チケット】 前売り券 1,500円、当日券 2,000円
【演奏予定曲目】 「コンドルは飛んでいく」「花祭り」「コーヒールンバ」など
【チケット取り扱い・問い合わせ先】
 市国際交流センター
 ☎ 35-3211

ご相談ください。障害者に対する NHK放送受信料免除があります

障害者手帳の交付を受けた人で、下記の要件を満たす人はNHK放送受信料の免除を受けることができます。
【対象者の条件】
[全額免除] 「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかの交付を受けた人が世帯員で、世帯全員が『市民税非課税』の場合。
[半額免除] 下記のいずれかに該当する人が世帯主で、受診契約者の場合
 ○視覚障害または聴覚障害の身体障害者手帳の交付を受けた人

- 身体障害者手帳1級または2級の交付を受けた人
 - 療育手帳Aの交付を受けた人
 - 精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けた人
- ※詳細については下記まで、お問い合わせください。

☎市福祉事務所福祉係
 ☎ 35-1111（内線261）

公道部の一部は市が敷設します 水道給水管の工事について

水道工事で、家などに給水管を引く場合、これまでは、本管から家までの給水管は、敷地内も公道部も個人負担で敷設してもらっていました。
 平成24年度からは、公道部の給水管の一部については、市が敷設を行います。詳細については水道課まで、お問い合わせください。

☎市水道課
 ☎ 35-1111（内線293）

ご利用ください。 公証人による遺言等無料相談

えびの市社会福祉協議会では、都城公証人による、相続・遺言・任意後見契約・尊厳死宣言・賃貸借契約・金銭貸借契約・離婚給付契約等の公正証書作成に関する無料相談を実施します。

【相談日時】 5月24日（木）午後1時30分～4時
【会場】 えびの市総合福祉センター
 ※事前予約が必要です。下記に電話で予約してください。
☎えびの市社会福祉協議会
 ☎ 35-2800

音声（朗読）ボランティア養成講座 受講生募集

宮崎県立視覚障害者センターでは、小林えびの西諸県地区で、音声訳（朗読）ボランティア養成講座を行います。この講座は、視覚障害者が豊かな生活を送れるように、広報紙や議会だより、本など、分かりやすく読み上げるための講座です。
【開催日時】 平成24年5月12日～平成25年3月の第2、第4土曜日（午後1時30分～午後3時30分）
【講師】 堀之内悦子、水間節子
【会場】 小林市社会福祉センター（小林市立図書館横）
【申込方法】 下記に電話で申し込んでください。
☎小林市社会福祉センター

☎ 23-3466

自動車税は納期内に納めましょう



自動車税は、4月1日現在、宮崎運輸支局に登録されている自動車の所有者または使用者に課税されます。金融機関または県税・総務事務所のほか、各コンビニエンスストア、インターネット利用によるクレジットカードでも自動車税を納めることができます。詳しくは納税通知書をご覧ください。
 自動車を所有している人は、5月31日（木）までに、自動車税を納めてください。
 もし、5月中旬までに納税通知書が届かないときは、お近くの県税・総務事務所までご連絡ください。

119 だより

えびの市消防署人事異動のお知らせ

4月1日付けの人事異動で職員が変わりました。
【着任】
 前原泰典（署長補佐兼係長）、窪田勇一郎（救急救助係）、松元潤也（救急救助係）、塩畑公基（救急救助係）
【離任】
 千田健二（高原分遣所長）、池上優（中央消防署署長補佐）、色増隆広（中央消防署主任）、菊永伸（須木分遣所主任）、中原正幸（中央消防署主任）、徳永洋幸（中央消防署主任）、重留良次（警防指令課指令係）、横山諒（警防指令課指令係）

3月の活動状況 【えびの消防署管内】	火災	0件	年計	2件
	救急	63件	年計	211件

■えびの消防署 ☎ 33 - 6119

なお、障害者の人のために使用する自動車については、一定の要件に該当する場合は、5月31日までに申請すれば、自動車税の一定額が減免されます。

☎小林県税・総務事務所
 ☎ 23-3194

消費税および地方消費税の納税は納期内に

納税は社会の基本的なルールです。特に、消費税および地方消費税は、消費者からの「預り金的な性格」を有する税金ですから、納期内に確実に納付してください。
 納税資金の準備にあたっては、毎日または毎月の売り上げの中から、消費税および地方消費税に相当する分を積み立てるなど、日頃から納税資金の準備に努めましょう。なお、納期限内に納付がない場合には、本税のほか、完納の日までの延滞税も併せて納付することになりますのでご注意ください。
 納税について分かりにくいことがありましたら、最寄りの税務署にお気軽にお尋ねください。

☎小林税務署
 ☎ 23-3126（自動音声案内）

【おわびと訂正】
 4月号の特集「犬への愛です。しつけとマナー」の「予防注射日程表」に曜日誤りがありました。正しくは、5月18日（金）です。おわびして訂正します。

110 だより

自転車利用者の事故防止

平成23年中における県内の自転車の関与する交通事故は、1,546件、死者数は7人です。事故の形態として多いのは、交差点での出会い頭の交通事故です。
 自転車は、次の5則を守り、えびの市から自転車の事故を追放しましょう。
 ○自転車は車道が原則、歩道は例外
 ○車道は、左側を通行
 ○歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
 ○安全ルールを守る
 ○子どもはヘルメットを着用

3月の交通事故発生状況	人身	6件	本年2月末	31件
	物件	27件	本年2月末	85件

■えびの警察署 ☎ 33 - 0110

ふるさと散歩

Furusato-sanpo

162

加久藤城竈門神社



加久藤城跡本丸にある竈門神社

加久藤城跡の本丸にある「竈門神社」は、江戸時代につくられた「三国名勝図会」に「松齡公（義弘）加久藤城にありしとき、元龜三年（一五七二年）三月五日、城の擁護として勸請したまう：」とあります。この年の五月、木崎原合戦があります。伊東氏との戦いが避けられない状況下で、「竈門神社」は、加久藤城の「守護神」として創建されたといえます。

この神社は、創建時から「三社大明神」と呼ばれていました。しかし、明治三年（一八七〇年）、神仏混淆を禁じた「神仏判然令」により「竈門神社」と改名させられました。神様は「三社」と

あるように日武主比神（荒神・火の神作神）、奥津日子神（水天）、奥津毘売神（妙見・敵を撤退させる神）の三座が祀られています。

元龜三年（一五七二年）五月四日早朝、伊東軍三千の兵の一隊は、伊東新次郎、又次郎に率いられた上江方面から加久藤城をおそいました。

戦いは早朝の暗闇の中ではじまりました。伊東軍は搦手門（裏門）の徳泉寺口の方から「鑰掛口」という断崖絶壁の本丸に通じる細道から侵入しようとした。ここでは、上から城兵の激しい攻撃にあい多くの死傷者がでました。激戦の中、夜もあ

けはじめ、馬関田、吉松などから島津の救援が背面から攻撃しはじめ、伊東軍は形勢が危うくなり川内川の南岸に退去し、とうとう加久藤城を落とすことはできませんでした。このことは城兵の奮闘はもちろんのこと、三社大明神のご加護のおかげだったともいわれています。

また、「三国名勝図会」には、薩摩藩初代藩主家久がこの城で誕生したとき「誕生杉」が植えられ、それが大杉になっていくことが絵を添えて書かれています。家久は、この神社を「産土神」の一つとして、とても崇敬していたとも書かれています。

（文／えびの市文化財保存調査委員会）